

2025年度卒業後動向実態調査報告書

IR推進室

実施期間：7月14日（月）～8月3日（日）



サマリー

1. 調査概要

- 有効回答は583件、対象5,596名に対して回答率10.4%。
- DPを軸に、入学時～在学～卒業～卒業後の各調査と接続して位置づけ。

2. 学修成果・DP定着

- 「DPが身についた」卒業生は約75%強、「これから学生が身につけるべき」は90%超。
- 「上智で将来に必要な学びを得た」約95%、在学中の成長実感も約95%。

3. 追加で求められる力（自由記述）

- 最多は「コミュニケーション・論理的表現」、次いで「社会人基礎・協働姿勢」。
- それらは主にOJTで獲得しているとの回答が多い。

4. 在学体験・満足／NPS

- 満足は「友人・授業・教員・カリキュラム」で高い。NPS33.8。20/22年卒が高め、学部差大。
- 推奨理由は「教育×環境」。不満は「事務・運営」「基礎科目の厳度」。中立は「決め手不足」。

5. キャリア・就業の実態

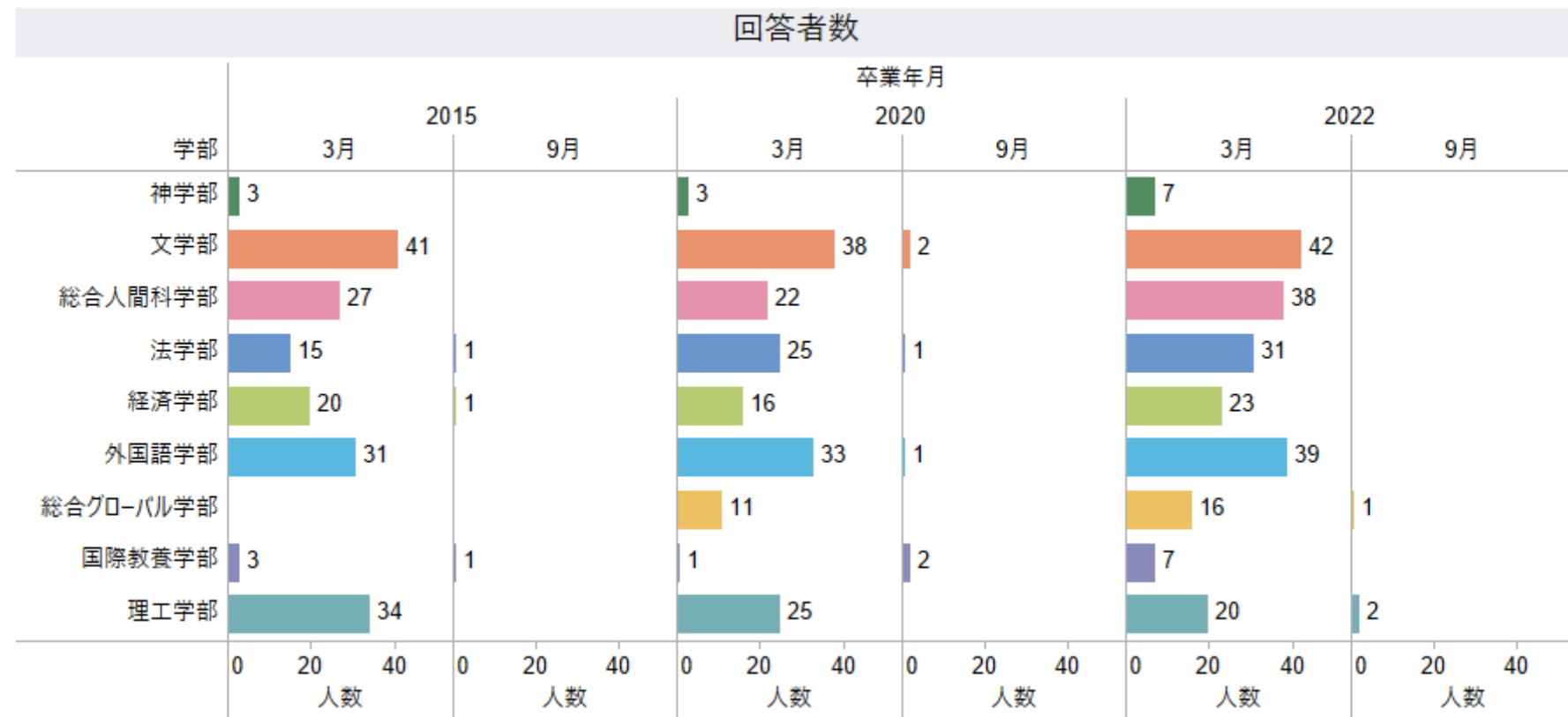
- 国内企業・無期雇用が多数。卒後10年で管理職比率が上昇し、転職経験も約半数に増加。
- 年収は3～5年で400～600万、10年で600～800万ヘシフト。キャリア満足は7割弱。

2022年度に「卒業時に身につけるべき知識・能力・態度（DP）」を中心に整備



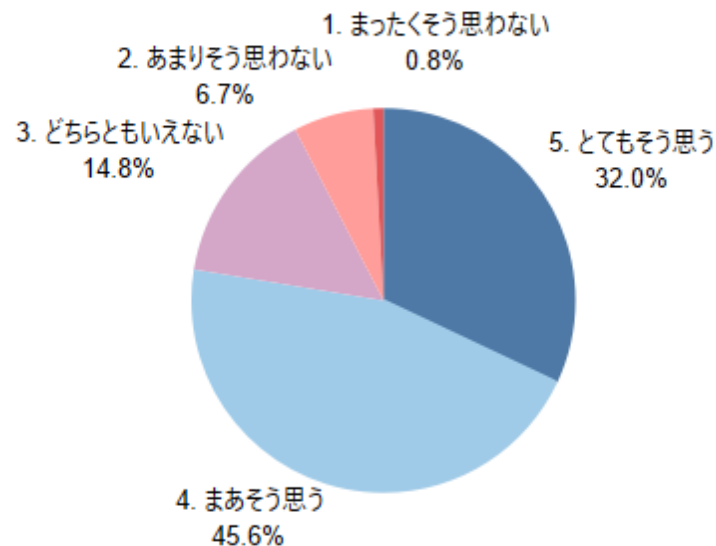
	入学時調査	在学時調査	卒業時調査	卒業後調査
DPの能力	- 知っている - 身につけたい	- 能力が伸びた - もっと伸ばしたい	- 能力が伸びた - もっと伸ばしたかった	- 身についた - 社会に必要な能力だと思う
学生生活等	- 居住形態・経済状況 - 両親の最終学歴 - 学生生活で期待すること - 学生生活で不安なこと	- 学生生活で不安なこと - 正課内外での活動時間 - キャリア意識	就職活動の振り返り	- 転職経験の有無 - 現在の就労状況 - 現在の経済状況
満足度等	- 志望順位 - 入学動機 - 媒体接触	- 施設・設備・支援体制の満足度 - 薦めたい授業・要改善の授業 - 上智大学の推奨度（NPS）	上智大学の推奨度（NPS）	- 現在の就労先の満足度 - 上智大学の推奨度（NPS）

有効回答は583件。5,596名の対象者に対する回答率は10.4%。

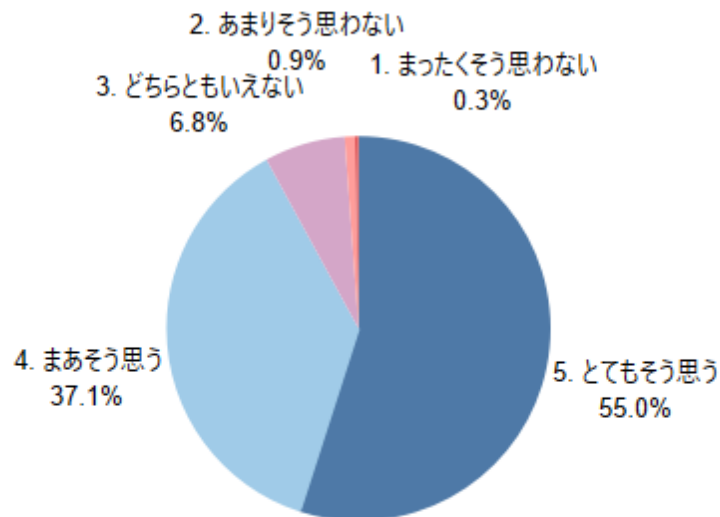


**DPが身についた卒業生はおよそ75%強。
「これから学生が身につけるべき」は90%以上。**

上智大学の学部教育を通じて身に付いたと思いますが

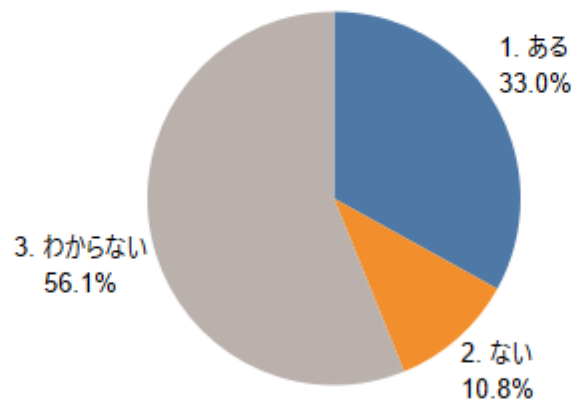


これから上智大学で学ぶ学生が身につけるべきものだと思いますが



DPに記載なく生活や仕事で必要になっている知識・能力・態度があるとの回答が1/3。

ディプロマ・ポリシーには記載がなかったが、ご自身の日々の生活や仕事などで必要になっている知識・能力・態度はありますか



コミュニケーション・論理的表現、社会人基礎・協働姿勢がとくに求められている。

1. コミュニケーション・論理的表現 (59件)

- コミュニケーション能力
- 幅広い教養＋論理的思考力／読む・書く・聞く・話すの言語力・コミュニケーション力

2. 社会人基礎・協働姿勢 (34件)

- 授業内外での協働・自律的な行動様式（社会で通用する振る舞い）
- 社会人として生きていくために必要な知識・能力・態度

3. セルフマネジメント・レジリエンス (12件)

- 忍耐力・継続力／周囲と協働する姿勢
- 忍耐力（粘り強くやり抜く力）

4. データ・デジタルリテラシー (11件)

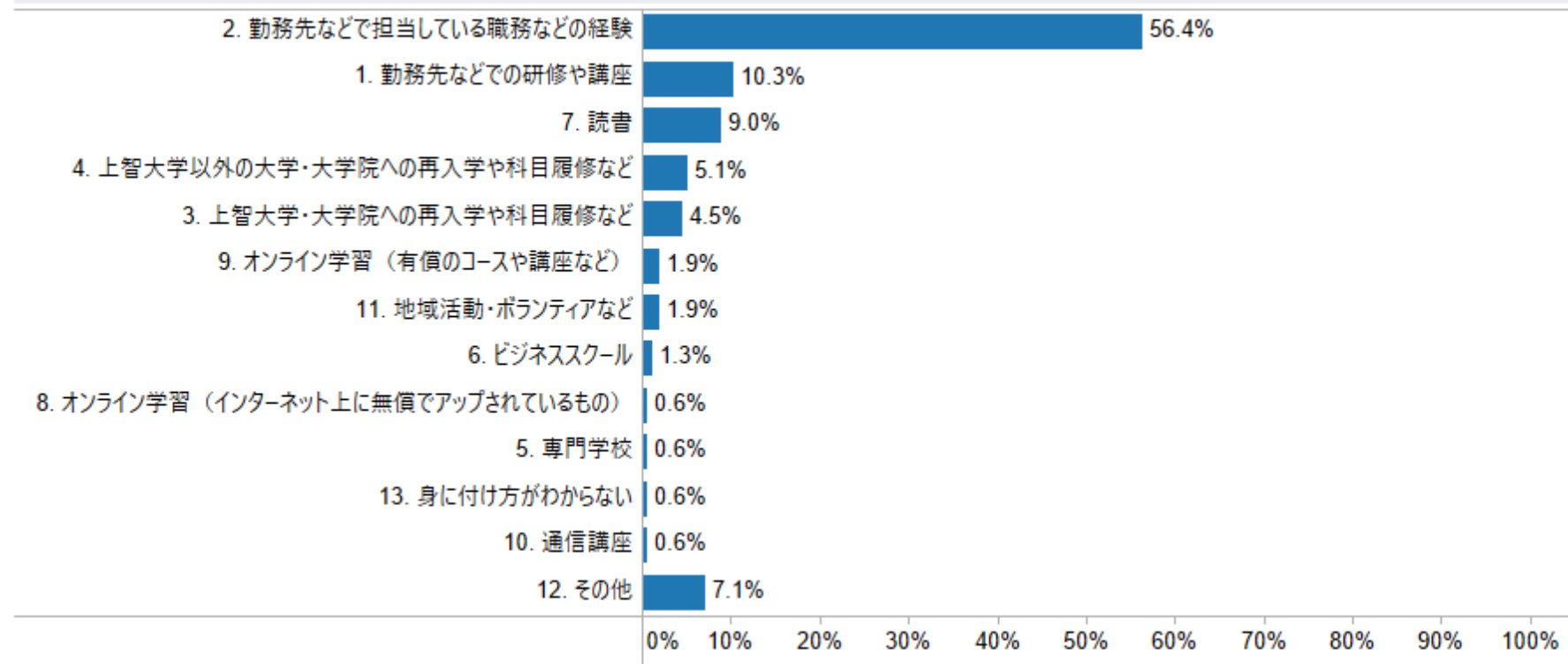
- IT基礎知識
- 論理的思考（ロジカル／クリティカル・シンキング）

5. 問題解決・批判的思考 (10件)

- クリティカルシンキング
- ロジカルシンキング／仮説思考で課題を解く

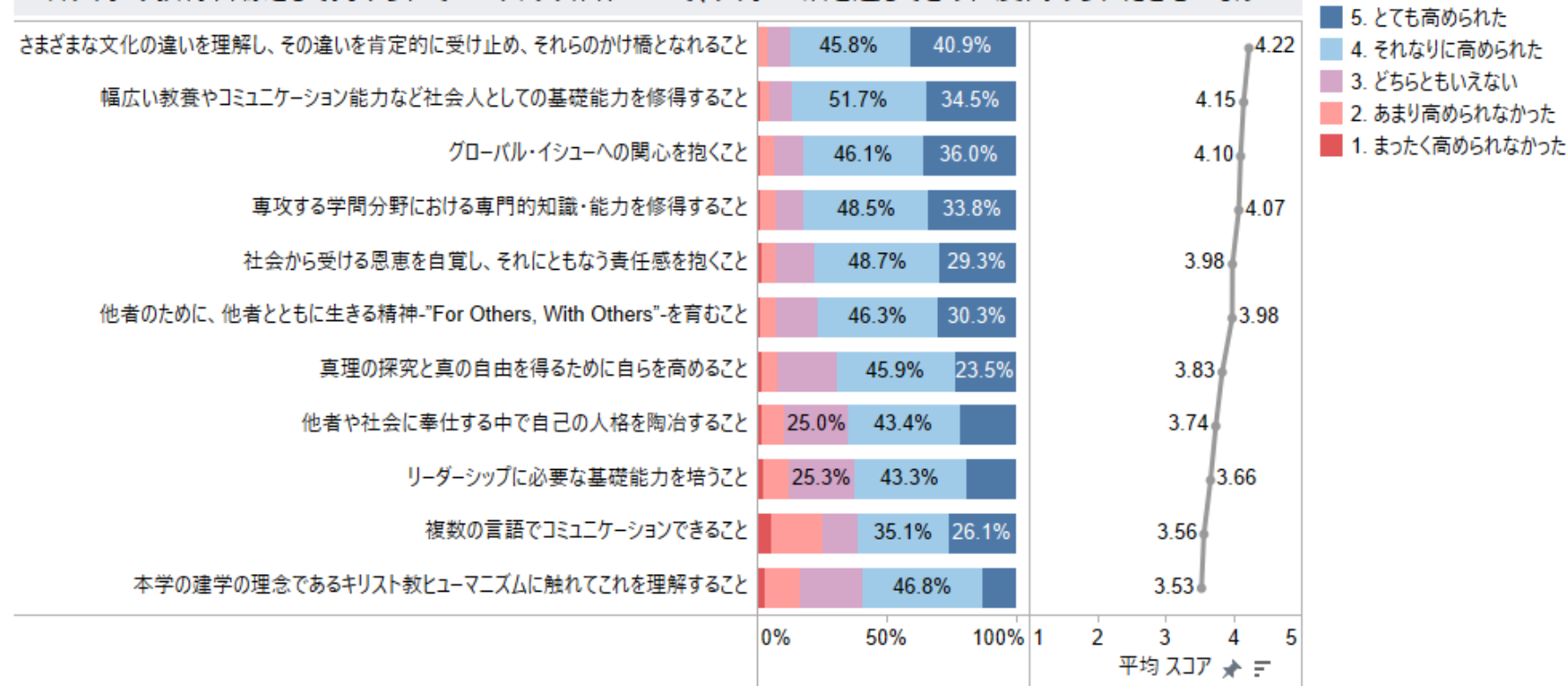
そのような知識・能力・態度はOJTで身につけることが多い。

その知識・能力・態度を、どのように身に付けてきましたか、あるいは今後身に付けようと思っていますか。



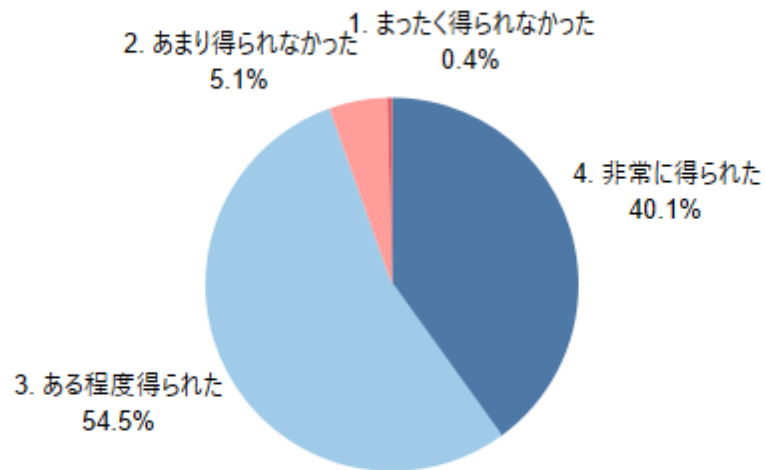
教育精神として掲げられている項目は概ね「高められた」と回答。

上智大学の教育目標として掲げられている次の項目について、大学生生活を通してどの程度高められたと思いますか



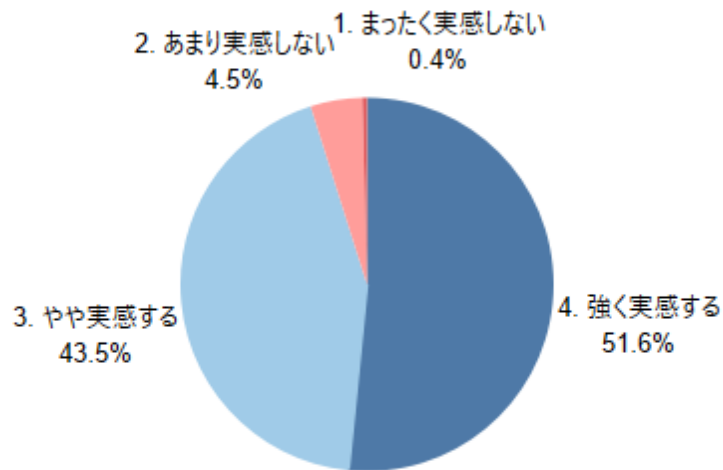
上智大学で将来に必要な学びを得られたと回答した卒業生がおよそ95%。

上智大学で、自分の将来に必要な学びを得ることができましたか



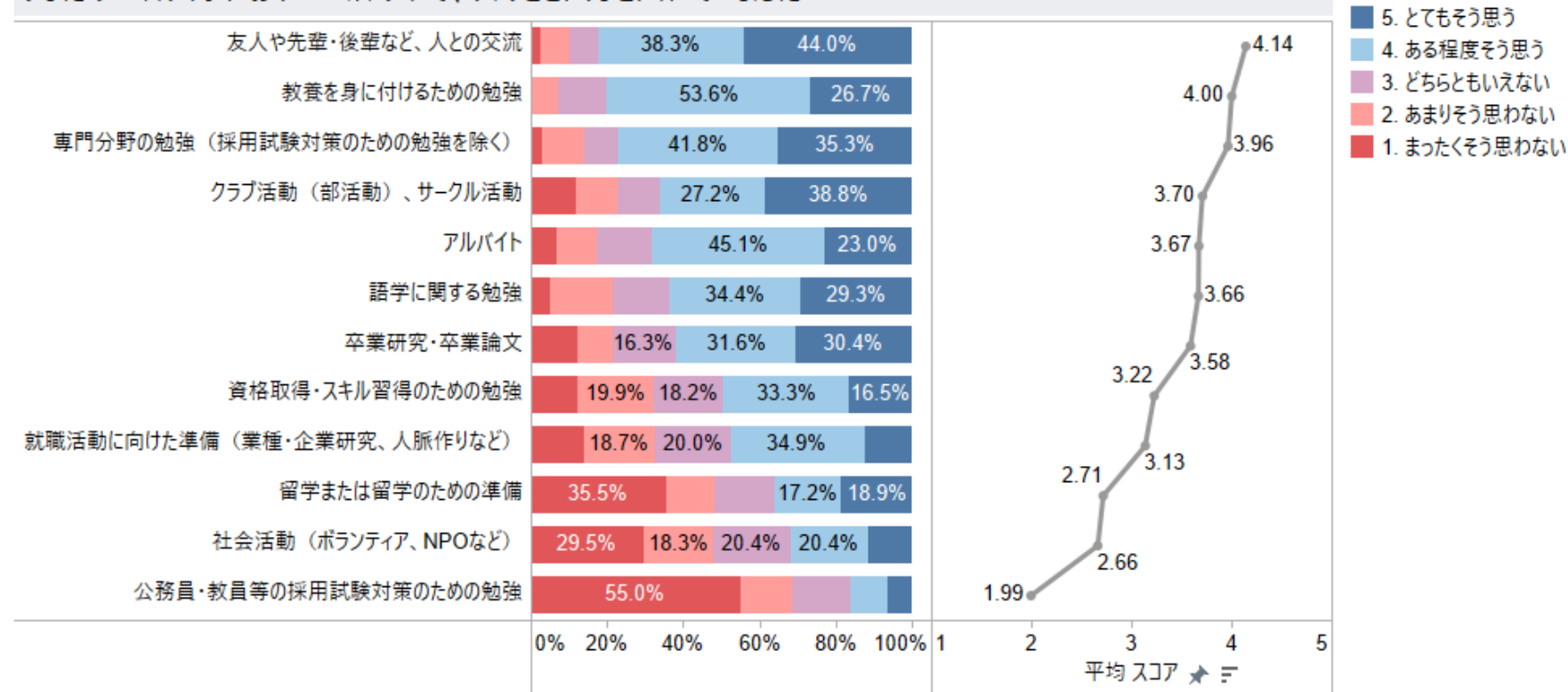
95%の卒業生が在学中の成長を実感している。

あなたは、上智大学在学中に何らかの成長をした実感がありますか。



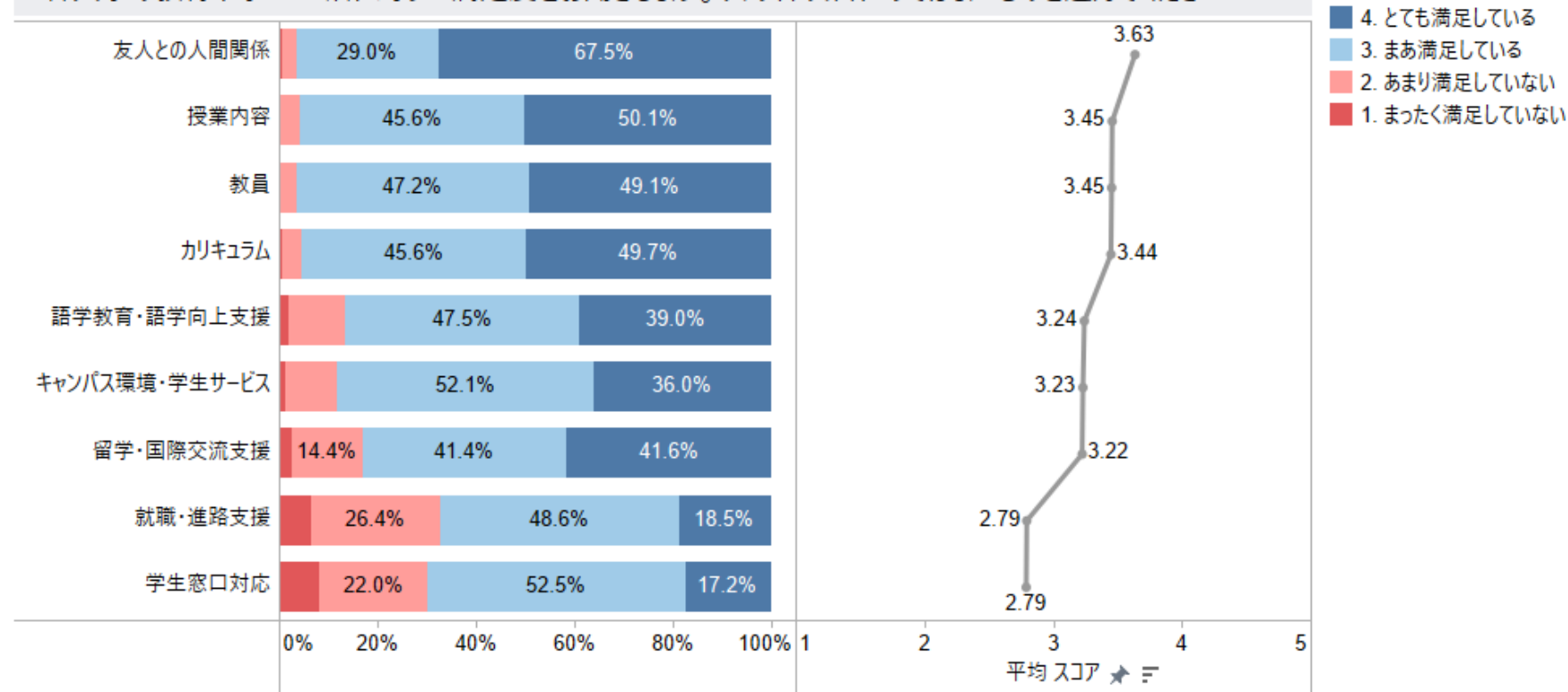
力を入れたことは「人との交流」「教養を身につけるための勉強」「専門分野の勉強」。

あなたの上智大学における生活の中で、次のことに力を入れていましたか



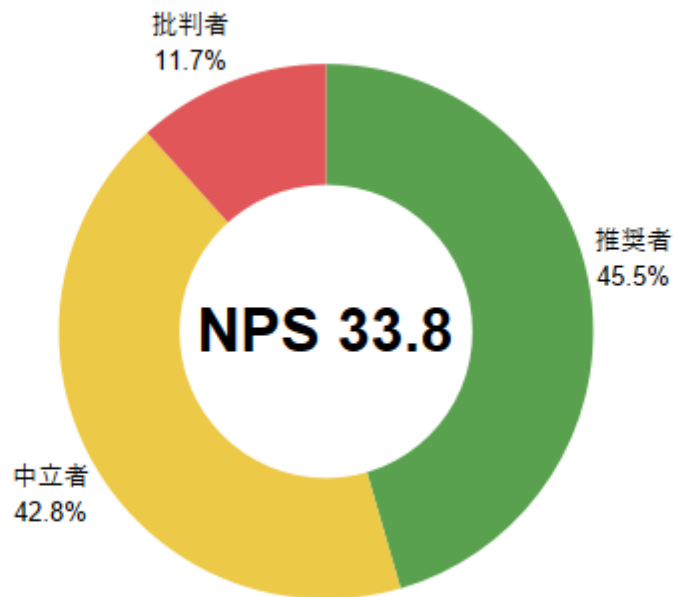
満足度は概ね高い。とくに「友人との関係」「授業内容」「教員」「カリキュラム」。

上智大学の教育や学生生活に対する満足度をお聞きます。次の各項目にあてはまるものを選んでください



全体的なNPSは33.8。

あなたが上智大学を友人や同僚に薦める可能性はどれくらいでしょうか？

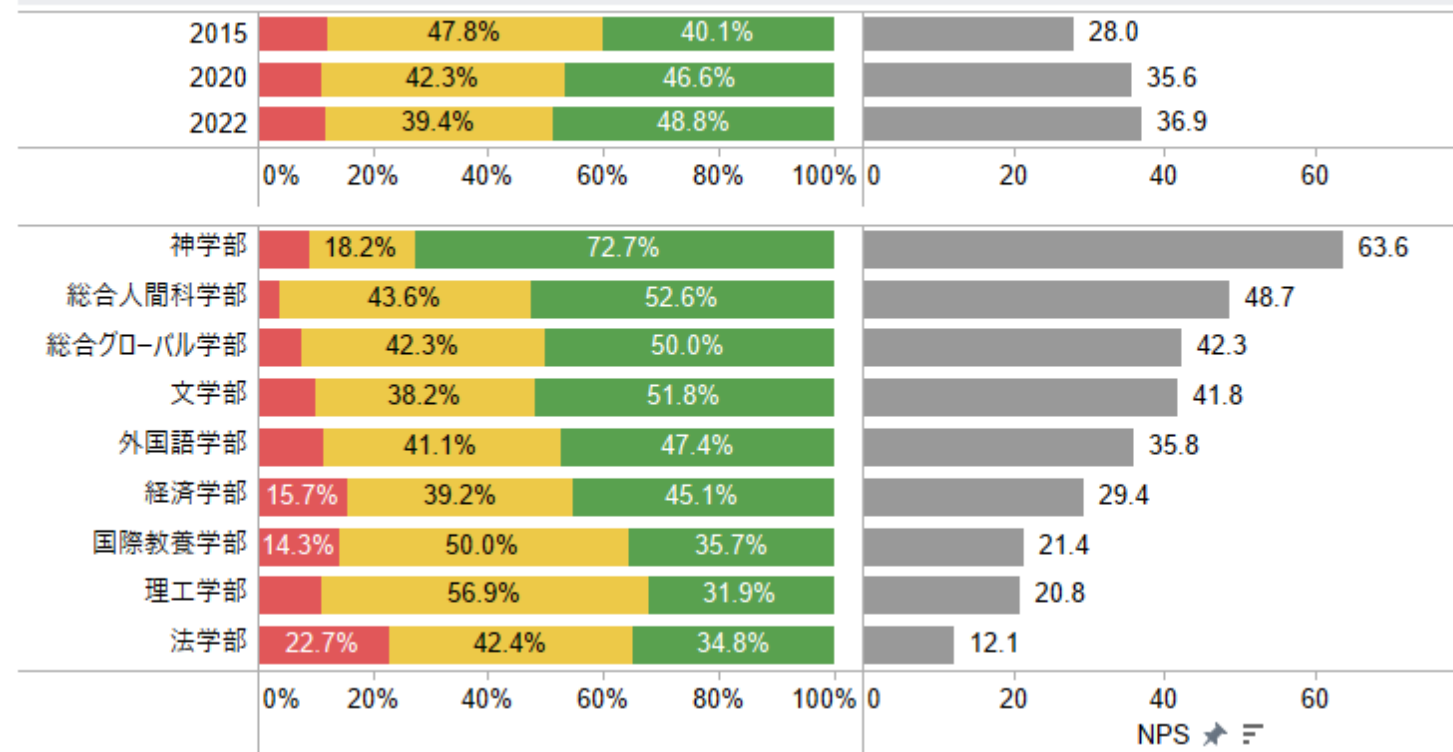


2020年、2022年の卒業生のNPSが高い。学部間の差が大きい。

あなたが上智大学を友人や同僚に薦める可能性はどれくらいでしょうか？

NPS区分

■ 推奨者
■ 中立者
■ 批判者



生成AIによる自由記述のまとめ

代表的な声（要約）

1. 推奨側（抜粋）

- 授業・教員：「自分が大きく成長でき、多くを学び社会で生かしている」、「カトリック精神に基づく教育が充実」
- キャンパス・環境：「こじんまりして居心地がよい」「タレントを伸ばす環境」
- 国際性：「小規模ゆえのきめ細かな教育」「国際的な視点が身につく」

2. 批判側（抜粋）

- 授業・教員：「学歴は良いが、1年次の基礎科目が生ぬるかった」
- 事務・運営：「学生サポートが十分ではない」「語学や資格は自分で動く必要がある」

インサイト（NPS観点の要点）

1. 推奨の主因は「教育×環境」

- 推奨者の理由は「授業・教員・教育の質（30件）」と「キャンパス・立地・環境（26件）」に集中。**教育経験の充実と学びやすい環境**が強い推奨ドライバーです。国際性（10件）とコミュニティ（9件）もプラス評価の裏付け。

2. 不満は少数だが“事務・運営”は要注意シグナル

- 「事務・運営・手続き・費用」は**2件すべてが批判者**。件数は少ないものの、**出れば強いネガ**になりやすい領域。授業の厳度・設計に対する指摘（基礎の水準など）も一定数あり、**科目設計のキャリブレーション**がNPS改善の打ち手。

3. 中立者（7-8）は“良いが決め手不足”

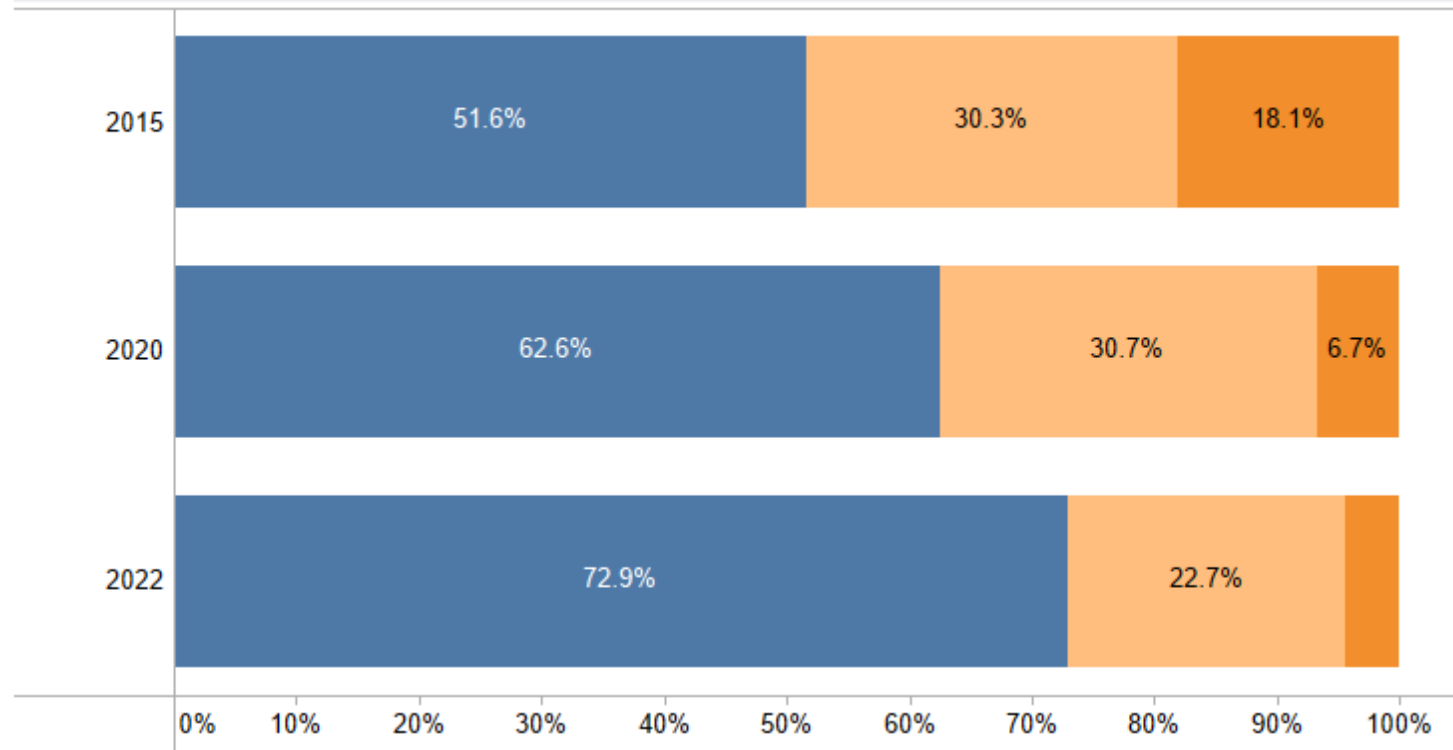
- テーマ分布は推奨者に似ており、「授業」「環境」「国際性」への肯定はある一方で、**一押しの具体メリットが弱い傾向**。**体験の可視化（成果・成長の具体例）**や**サポート動線の明確化**で、推奨へ押し上げ余地。

転職はキャリアに従って増えている。卒業後10年（2015年卒）だと半数近くが転職を経験。

転職・離職の経験はありますか

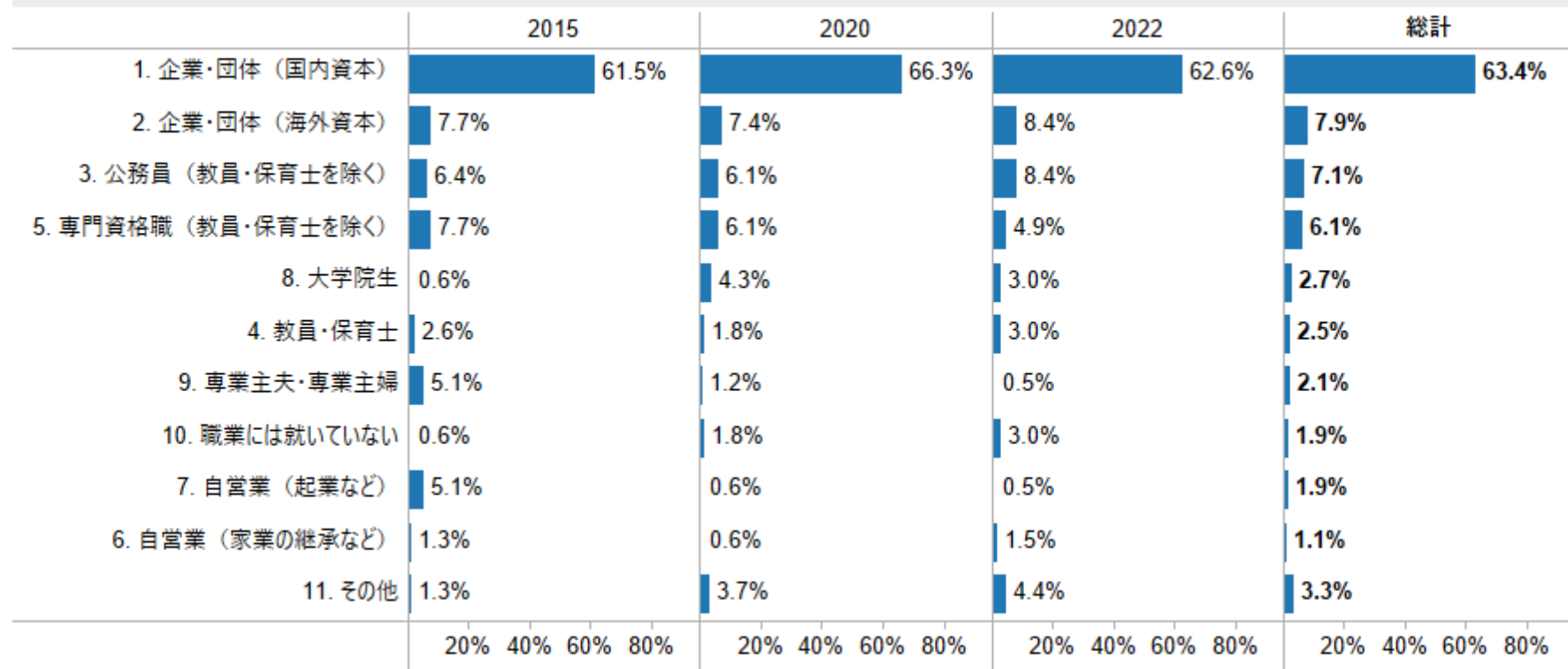
回答

- 2回以上ある
- 一度だけある
- ない



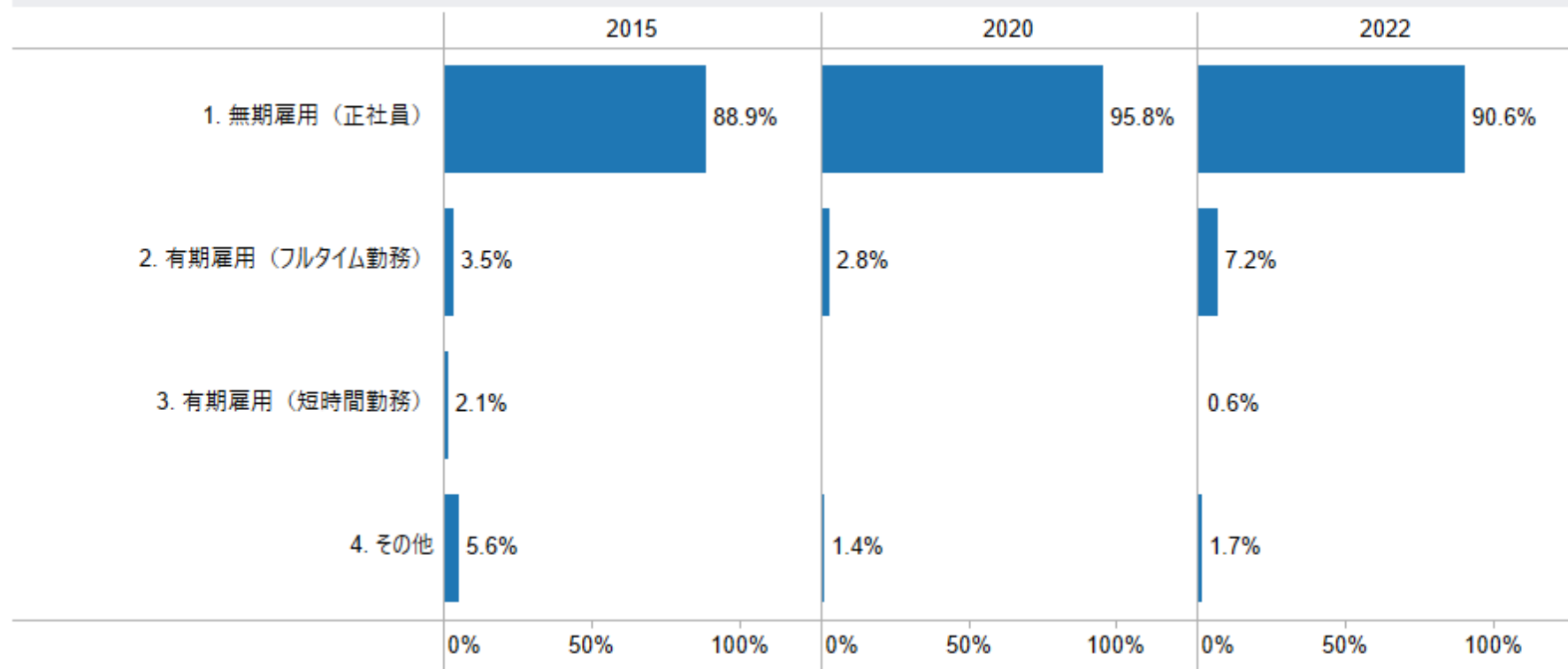
職業は国内企業が多い。卒業年に従った傾向はみられない。

あなたの現在の職業などについて、もっともあてはまるものを選んでください



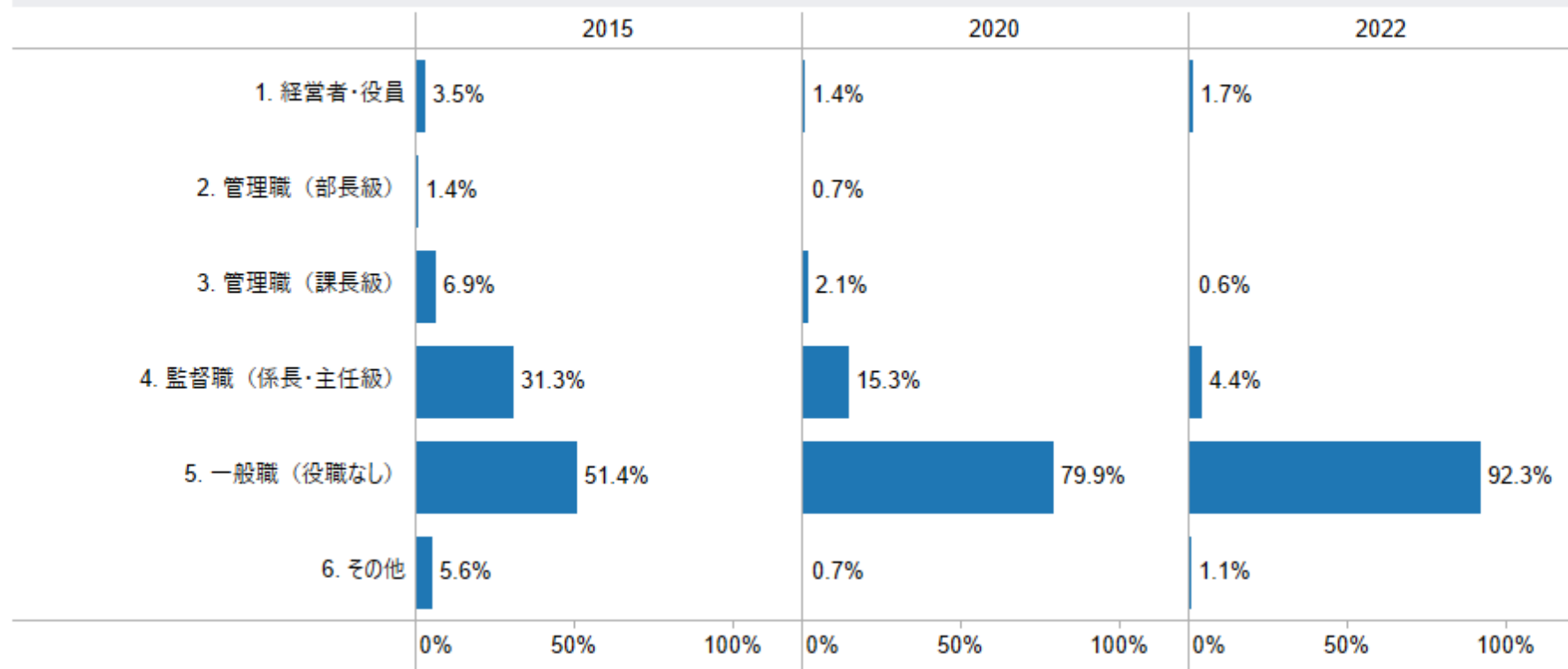
就業経験は無期雇用が多い。

あなたの就業形態について教えてください



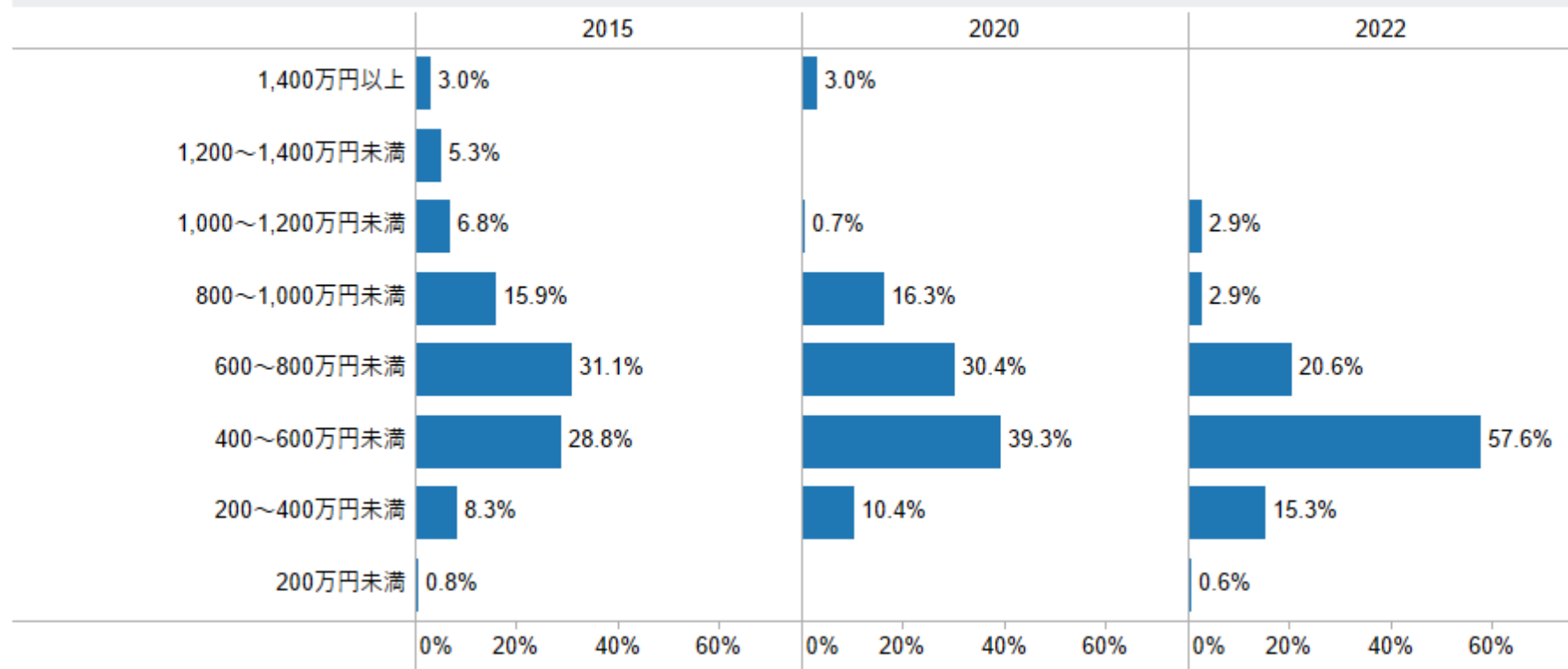
卒業後10年くらいで監督職・管理職の割合が増える。

あなたの職位について、もっとも近いものを選んでください



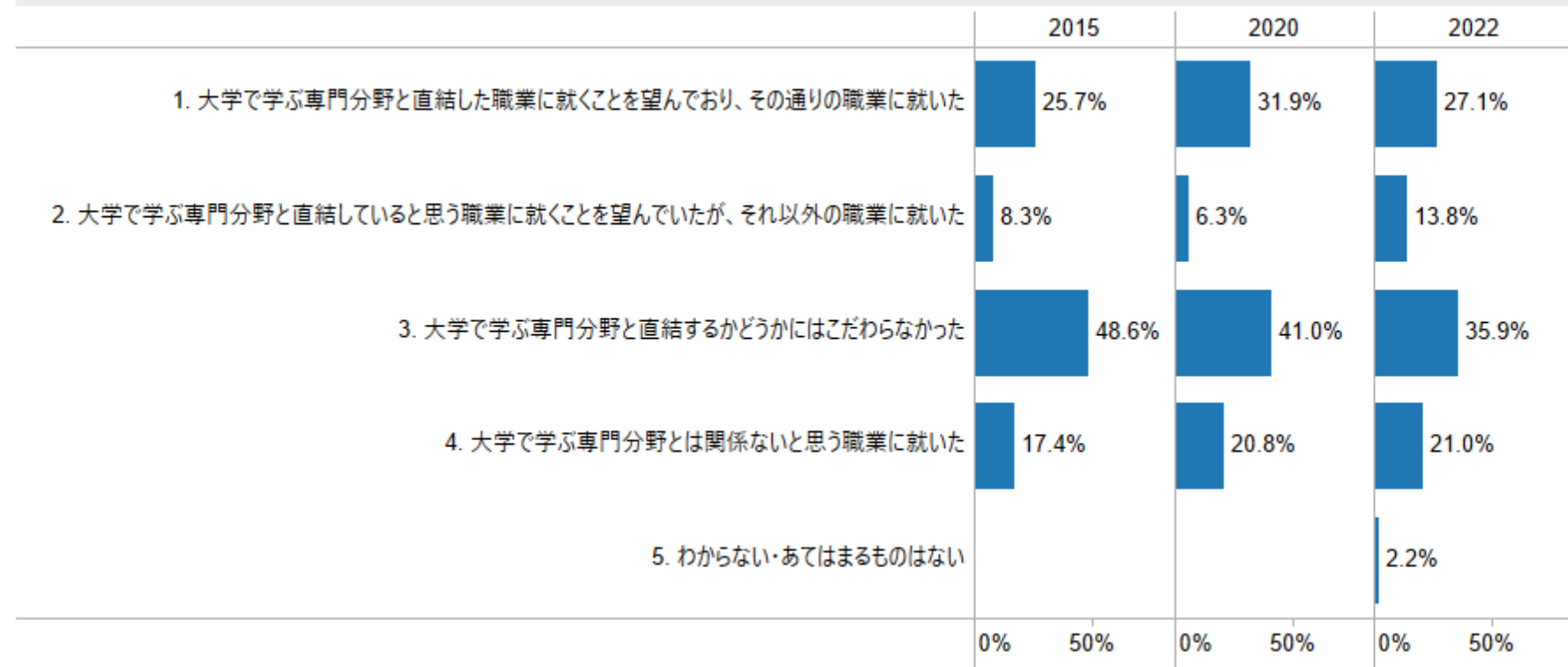
卒業後3年・5年のピークは「400～600万円未満」だが、
卒業後10年になると「600～800万円未満」がピークとなりそれ以上の割合も増える。

あなたの個人年収（額面）について、もっとも近いものを選んでください



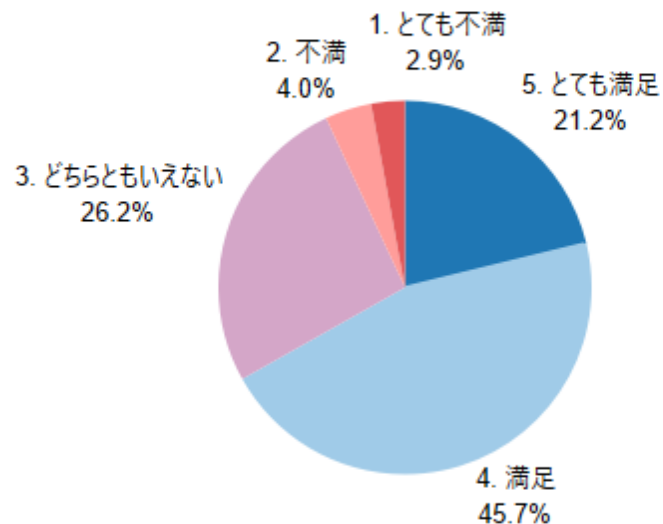
現在の職業は「専門分野と直結するかどうかはこだわらなかった」が多い。
専門分野と直結した職業に就くことを望みその通りの職業に就いた卒業生も比較的多い。

あなたが上智大学で学んだ専門分野と、あなたの現在の職業などとの関係について、あてはまるものを選んでください



卒業後のキャリアパスに満足している卒業生は70%弱。

上智大学を卒業してから、現在の職や立場に至るまでのキャリアパス（道筋）に満足していますか





上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

FOR OTHERS, WITH OTHERS